

大船渡線・気仙沼線BRTに乗車

☆一般道とJR線を行ったり来たりで 長距離移動はしんどいなー！



●撮影：林 照／JR気仙沼駅／撮影20170323

【左側奥が南三陸方面BRT・右側は一ノ関方面大船渡線】

☆☆活動報告☆☆

3月21日 ROBA3月例会
25日 ふくい交通フェスタ
4月13日 ROBA4月例会

☆☆今後の予定☆☆

4月15日(土) 「ローカル鉄道・地域づくり大学」との交流
5月11日(木) ROBA5月例会
20日(土) ROBA総会・討論会
6月18日(日) さばえ環境フェア2017

Wacky's 一押しCD その12

セルジオ・メンデスとブラジル'66 「ルック・アラウンド」

何を今更と言われそうですが、私の一番好きなバンドはこれなのです。バンド名を見てもお分かりのように、バンド創立は1966年です。でも、今聞いても全く古くなく、たまにTVコマーシャルでかかっていると、新曲のように思えます。リーダーのセルジオ・メンデスは、ブラジル音楽を世界に広めたという意味では、ボサノバの創始者のアントニオ・カルロス・ジョビン以上の功績があるかもしれません。

ジョビンの知的で美しさを追求する路線も素晴らしいですが、メンデスの楽しさと躍動感の追求も負けない良さがあります。気分の晴れないとき、この一枚を聞けば、スッキリ爽やか間違いなしです。お薦めの曲は、サンバのパンチ力を活かした、トリステーザとバトゥカーダです。ボサノバのチンタラ感では満足しきれないあなた、ぜひ、ご一聴ください。

第14回 “全国バスマップサミット in 横浜” 参加報告

松浦 秀洋

神奈川県横浜市にて、第14回全国バスマップサミットが2月18日(土)~19日(日)の日程で開催されました。ROBAからは林さんと松原さん、私が参加しました。

会場は、横浜にぎわい座(横浜市桜木町)。普段は落語や演芸が開催されるホールです。バスマップサミット会場全体を、路線バスの車内に見立てての議事進行。

基調講演をされた、横浜国立大学の中村文彦氏までも路線バスの運転士さん役で登壇です。

議題は「バスがまちを変えていく」。前半は、横浜市内を走る低床バス本来の性能を最大限に生かすための研究について。後半はブラジル(クリチバ)・フランス(メッス)などの海外バス情報。まるでLRTみたいな3両連接バスのスライドを見せて戴きました。

その後に、パネルディスカッション。昼食と街歩きを挟んで二部構成で実施されました。

なお、ホールの外では販売コーナー、全国のバスマップや資料の展示、チラシ配布が行われていました。ROBAもバスマップを掲示。多くの方々が集まっていました。

翌日は、分科会です。市電ホールと吉野町市民プラザで分散して開催されました。

【バス停はまちの回遊ポイントとなれるか?】【全国バスマップ、横浜バスマップ、見どころとこだわり】【子どもと親のバス利用をうながすためには?】という内容。私は【全国バスマップ~】を選択。分科会は2時間。最初の30分間は全国のバスマップを実際に作成している団体の制作秘話や苦労した部分の発表がありました。その後、約1時間かけて会場内のパネル(全国のバスマップ・一部海外のバスマップを掲示)を見ながら事前に配布されたチェックボードにメモ。最後に総括で討論する流れでした。

今回参加させて戴き、全国のバスマップを作成に関わっている方々の、熱い議論、厳しい意見、称賛など生の意見を聞くことが出来ました。



第14回 “全国バスマップサミット in 横浜” 参加報告その2

林 博

今年2度目となるバスマップサミット(5月の松山は昨年度分)に参加しました。2日目の分科会には、サミットのもう一つの原点である「バス停からのまちづくり」の議論を期待して【バス停はまちの回遊ポイントとなるか?】に参加しました。ただ、商店街が頑張っている横浜だけに、「バス停横の名物おばちゃん」など、人がその中心になる必要があるなど、「商店街まちづくりのプロ」のキーワードなどがいくつか出たものの、ほかの元気な商店街とどのように回遊性を持たせるかなど、商店街の活性化の議論になってしまい、バスを活かしたまちづくりというところまでたどり着けず、空回りして終わってしまいました。もう少し準備段階で議論して、整理したり煮詰めておいてもらったりすると、いろいろ突っ込んだ議論になったのではないかと、残念に思いました。

そんなこともあり、バスマップサミット終了後、今後の運営体制強化について幹事会を開催し、「全国バスマップサミット実行委員会」の規約(省略) 役員を以下のように決めました。岡さんが代表理事、鈴木さんが顧問、第2回サミットの福井、第3回の松江が監事となるほか、開催地から各理事が選出され、事務局に入った松原さんを併せて、ROBAから2名が役員となりました。次回は山梨か?

「全国バスマップサミット実行委員会」役員名簿 (平成29年2月19日現在)

顧問: 鈴木 文彦 【東京】交通ジャーナリスト

代表理事: 岡 将男 【岡山】NPO法人 公共の交通ラクダ(RACDA)

理事: 足立 千佳子【仙台】(特活)まちづくり政策フォーラム 理事

菅井 直也 【広島】広島BRT研究会

谷田貝 哲 【沖縄・岡山】バスマップ沖縄

小美野 智紀【東京】企画集団らくもび

大野 悠貴 【弘前】弘前大学

今井 理雄 【札幌・東京】交通まちづくりフォーラム・札幌/駒澤大学・応用地理研究所

井上 昌隆 【高松】『ぐるっと高松』公共交通を育てる会

井上 学 【京都】平安女学院大学

米虫 聡 【松山】全国バスマップサミット in 愛媛実行委員会

諸星 賢治 【横浜・東京】企画集団らくもび

監事: 林 博 【福井】NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

田中 隆一 【松江】NPO法人 プロジェクトゆうあい

事務局: 小美野 智紀(事務局長) 理事兼任

伊藤 浩之 【東海3県】公共交通利用促進ネットワーク

今井 理雄 理事兼任

高島 亮太 【東京】企画集団らくもび/株式会社玄

辻 寛 【大阪】大阪大学

松原 光也 【福井・関西】NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

/Slow "Mobility" Life Project

のりのりマップの活躍その1「公共交通フェスタ」

林 博

今年は福井県が主催して、3月25日に「公共交通フェスタ」を開催しました。昨年のROBAと京福バスで行った総合ターミナル開設記念イベントに比べても、たいへんにぎやかなイベントになりました。これが定着してくれると、春のダイヤ改正告知や新入生・新入社員などへの公共交通のお誘いイベントと、9月のカーフリーデーイベントと併せて、半年に一度(年2回)の公共交通イベントがタイミングよく実施されることになるので、今後とも引き続き実施していきたいものです。

ふくいのにりのりマップ14版も、昨年に引き続き間に合わせて発行したかったのですが、改訂作業を始めたところ、鯖江市などのコミュニティバスの大規模改正が予定されており、間に合いそうにないことがわかりました。ただ福井市版だけならできるという声に、それなら福井市版だけでもminiマップを発行しようということになり、3月25日に1,000部を用意して、会場及びバスターミナルでバス利用者に配布しました。苦肉の策でしたが、大成功でした。

マップの説明のついでに、バス案内も行いました。

- ・県外の朝倉氏遺跡に行きたい人に、東口発の朝倉特急バスを紹介するという手もあったのですが、西口発の大野線(土日は朝倉経由にルート変更)を案内しました。
- ・フェニックスプラザへ行きたい外国人2人に、えち鉄や福鉄の田原町行きを紹介するという手もあったのですが、西口からは38番の大和田エコラインがあると紹介していたら、ちょうどバスがやってきたので、運転手に降ろしてあげてほしいとお願いして乗ってもらいました。

でも、土日の利用者の少なさを実感し、バスが土日減便になるのもやむをえないのかと感じました。また、案内していても、最初は「変なおじさん？」と思われるようなので、「バス案内人」であることがわかるような工夫が必要だとも思いました。これまでも、松江のグループが、松江駅前案内人を務めた実績があるようで、その時にもそれがすぐわかる名前が入ったベストを着ていたという記憶があります。わかりやすい名前と、わかりやすいデザインのベストを作りましょう。



のりのりマップの活躍その2 「大学生新生活支援 MM 事業」 林 博

3月25日の「公共交通フェスタ」で配布した余りの mini マップの有効活用について、川本先生と会場で話して、福井大学の新生へ MM に使ってみようということになりました。その後、大学の関係機関と調整していただき、福井大学環境整備課を通じて学生に配布することになり、先日寄贈してきました。ROBA の活動に明確に位置づけるために、事業名を以下のようにしました。

1. 事業名称：大学生新生活支援モビリティ・マネジメント事業
2. 主催者：NPO 法人ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)
3. 事業内容：福井の大学生の新生活におけるバス電車利用支援
4. 提供情報：普及簡易版「ふくいのりのりミニマップ」福井市版の提供 (845部)

<普及簡易版「ふくいのりのりミニマップ」福井市版の提供とその活用について>

わたしたち「特定非営利活動法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)」では、公共交通を活用したまちづくりを進め、豊かな生活を確保することを目的に活動しています。(中略)

このようなことから、新生の新しい生活の中での活用を図っていただきたく、ここにマップの提供を申し入れるものであります。なお、この活動はNPO法人の自主事業として行い、このマップが活用されて定着していくことを期待し、今回は無償提供とさせていただきます。

福井大学もマップと一緒に、地域時刻表を使って学生向けに以下のような資料をつくって配布してくれるそうです。うれしいですね。来年はほかの大学などにも広げていきたいですね。

福井大学周辺のバス・電車時刻表

★平日

福井大学周辺のバス		福井大学周辺の路面電車	
路線	時刻表	路線	時刻表
京福バス	時刻表	福井鉄道	時刻表
コミュニティバス	時刻表	福井鉄道	時刻表



えちぜん鉄道



福井鉄道

福井大学周辺のバス・電車時刻表

★土・日・祝

福井大学周辺のバス		福井大学周辺の路面電車	
路線	時刻表	路線	時刻表
京福バス	時刻表	福井鉄道	時刻表
コミュニティバス	時刻表	福井鉄道	時刻表



京福バス



コミュニティバスすまいる





作／漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 Part 47



●井月の墓（伊那市美篤末広）

何処やらに鶴の声聞く霞かな
落栗の座を定めるや窪溜り

伊那路に「井月」をたずねて 20170109

井月との出会いは、つげ義春が1980年代に描いた漫画「無能の人」でした。河原で石を売るマンガ家が主人公。石は河原に落ちているものなのでまったく売れずに昼寝ばかりしている。私小説とも言える内容で熱狂的なファンが全国におり私もその一人で魚ざいます。

さて右の句は井月の辞世の句と言われており、無類の酒毒に侵されポロ布をまとい、冬枯れの田に落ち、糞尿をたれ流して行き倒れていたという。あの世とこの世の霞を彷徨っているつげさんの生き様にも通じるものがあり、この句に出会ってつげさんは井月を漫画にしようと思ったそうです。

左の句は、わが身を地に落ちた栗にたとえ、朽ち果てるまで伊那谷にとどまる覚悟を詠んだもの。

余談ですが伊那駅前から井月の墓を訪れるにはタクシーで3000円ほどかかると聞き、駅に近い図書館を訪ねコミバスの時刻表をもらい、井月のように田んぼの淵をふらふら歩き、なんとか往復3000円で訪ねることができました。

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「5月20日に総会・討論会を行います。これまで総会記念の講演会を開催してきましたが、本年は趣向を変えROBA及び外部の関係者を招いて討論会を開催する計画でいます。」

林(変集長)

「今月からシルバー料金で映画を見ていますが・・・年齢証明の提示は求められません・・・？」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>